



自国優先のグローバリゼーションの中で

国境を越えて 地域と地域がつながる

(株) プレス・オールタナティブの新しい試み

「フェアトレード(公正な民衆公益)からコミュニティトレード(国境を越えた地域づくり)へ」を学ぶ

第三ショップ/プレス・オールタナティブと言えば、カカオの味わい深いおいしいチョコレート(これを食べたら他のチョコが食べられなくなる)と、スパイスを味わえるマリオさんのカレーの壺。

そして今年2月2週、新しい「コミュニティトレード」の試みとして、カシューナツ生産村のカンボジアの「オクルカエ村」と山口県宇部市の自給村「楠クリーン村」の緑茶生産と村の旅館での加工製造という国境を越えた村どうしをつないだ『カシューナツグリーンティー味』、いかがでしたでしょうか?

3月23日、プレスオールタナティブの市原さんに生協において頂き、「フェアトレードからコミュニティトレード」に発展していった経緯や、現地生産者の様子などをお伺いしました。

そのあと、チョコやカシューナツ、緑茶入りレモングラスティー、そしてマリオさんのカレーの壺を使ってじゃがいもとスナップエンドウのカレーとチキントマトカレーを作ってみながら頂きながら交流しました。



プレスオールタナティブの市原さん

【2017年4月の予定】

●生協基幹運営/地域活動・催し●	●提携・協同・連帯企画●
4. 4 (火) 午前 山本先生「憲法講座」	
4. 4 (火) 午後 脱原発とくらし見直し委員会 (63 回)	
4. 5 (水) 土浦地区懇談会、守谷地区懇談会	
4. 15 (土) 取手地区懇談会	4. 15 (土) 甲状腺検診 (東葛検診 / 我孫子市) 基金
4. 18 (火) つくばみらい地区懇談会、つくば地区懇談会	4. 15 (土) 新柏香辛飯屋イベント
4. 21 (金) 我孫子地区懇談会	4. 27 (木) 東海第二原発差止訴訟第 17 回弁論
4. 22 (土) 松戸地区懇談会	
4. 23 (日) 作って食べようランチ会 (塩屋さん)	
4. 28 (金) 利根地区懇談会、龍ヶ崎地区懇談会	

フェアトレードからコミュニティトレードへ プレスオルタナティブ

第3世界ショップの食品 ポリシー

- ▶ 世界中の風土に根ざした食文化を紹介し、豊かな生活を創ります。
- ▶ 国内産ではまかないきれない農産物だけを輸入し、日本の農を支えます。
- ▶ 近年の地球環境の変化に伴う様々な問題に対処しながら、持続可能な農業を続ける生産者を応援します。
- ▶ 素材の力を引き出し、できる限りシンプルな原材料で生産します。
- ▶ 食べる人が作る過程に想いを馳せることができるような流通を創り、作る人の誇り・情熱を食べる人に伝えます。

(株)プレス・オルターナティブ

プレス

メディア・発信

オルターナティブ

もう1つの

- 1985年創業。
- 大量生産、大量消費という経済活動に基づいたマスメディアの発信では埋もれてしまうような、身近な問題を自分たちで解決するべく立ち上がった！
- 以来30年以上、コミュニティリーダーに向けて月刊誌の発行を続けている。



第3世界ショップ



プレス・オルターナティブの輸入・販売部門

第3世界ショップは、貧困とそれによってもたらされる世界の諸問題を仕事創りで解決しようと、1986年に日本で初めてフェアトレードを事業として始めました。

「第三世界」という名称は、1955年、有名なバンドン会議で米ソの冷戦下における「第三極としての第三世界」を、アジア・アフリカのリーダーが呼びかけたことからきています。多様性の思想とこれまでにない新しい勢力をという想いをこめています。



フェアトレードってなに？

それは本当に良いことなの？

フェアトレードとは

途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に輸入・販売することで、生産者の生活向上を支援し、貧困問題の解決を目指す貿易のしくみのこと。

【アジアに広がるネットワーク】

- 第3世界ショップ
- カンボジア・ネパール・インドネシア・ミャンマーなど
- WWB ジャパン
- 山口県 楠クリーン村



スイスのチョコレート生産者



工場担当者



スイス北部の小さなチョコレート工場



チョコレート製品

スイス生産者の取組

【スイス生産者のしたこと】

- ・継続的にカカオを買うこと
- ・カカオ加工施設の建設
- ・専門家を招いたワークショップ



【その結果・・・】

有機栽培の品質のよいカカオが取れるようになり、プレミアムがつくようになりました

【コミュニティが自らやったこと】

- ・小組織を作る
- ・プレミアムで学校を建設
- ・自分たちで専門家を呼ぶなど
- ・さらに品質を高める

チョコレートの基本原材料



カレーの壺の生産者スリランカのマリオさん

1986年に「地域の雇用の創出と、スリランカの良質なスパイス文化をもっと広めよう！」とマリオさんご夫婦含む5人で起業。



会社設立 ～アジアのスパイス基地に～



人を大事に～充実した福利厚生～



人を大事に～障がい者にも同等の雇用機会を～



人を大事に～未来への投資～



今や従業員は 300 名に様々な品質管理認証取得「スリランカを農村から元気にする」農村支援プロジェクトそして 100 の農家が参加しての協働組織を立ち上げ

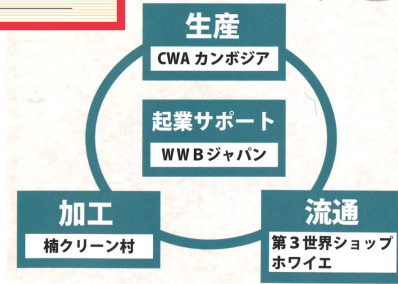
フェアトレードからコミュニティトレードへ

生産パートナーとは、お互いに切磋琢磨して成長していく対等な仲間であり、支援とは違います。パートナーは途上国だけでなく、解決すべき問題は貧困だけではなく、環境破壊、地域の過疎化・高齢化、後継者難、伝統的な文化や技術喪失といった国内と共通の問題です。そこで現在は国内外を問わず「地域の困った！」の声を地域の人たちと一緒に事業化することで問題を解決する」活動をコミュニティトレードとして推進しています。

実際に味わってみよう！

板チョコレート各種
カシューナッツグリーンティ味
緑茶入りレモンガラスティー

実演①:じゃがいもとスナップエンドウのカレー
実演②:チキントマトカレー



参加者の声より

〇印象的だった市原さんの笑顔

以前より「志」の高い企業さんだと思っていたので楽しみにしていました。当日はこじんまりと、アットホームな雰囲気だったので、個人的にはリラックスして、商品でしか知らなかった「プレス・オルターナティブ」さんの成り立ちや、仕組み等を実際に店員さんから生の声で伺えお話を伺うことができました。

フェアトレード、コミュニティトレードについて、そしてチョコレート、カレーの壺、カシューナッツの使い方について聞けました。

日本で最初のフェアトレードの会社であること。現在は活動の多様化に伴い「コミュニティトレード」を提唱されていること。フェアトレードのラベル認証の実態について（現在の法体制では有機生産物でも、ラベル

を取得しないとそのことがうたえない等）などを学び不勉強な自分が恥ずかしくなりました。（その分この日の会場に足を運んで得た成果は十分にあったと自負しております）。

一番印象的だったのがお話しされた市原さんの笑顔です。就職して5年の市原さんはスリランカのマリオさん（カレーの壺や胡椒）の農場の話やカンボジアのカシューナッツの苦労話をスライドを交えていきいきと話してくださいました。

本日このような貴重な話を聞く機会を得たので、これからは自分ができることとして、今日紹介された商品を買って支えることで少しでもフェアトレードやコミュニティトレードの仕組みが維持または発展できると良いなと思いました。料理の実演や試食は、先輩組合員さんのアドバイスでも伺えてとても楽しく有意義でした。今冷蔵庫で眠っているカレーの壺を活用しなくてはと思いました。（つくば市 戸田）

〇ファンになりました

マリオさんのペッパーやコーヒーチョコレート等購入していましたがフェアトレード、コミュニティトレードの話を受けてプレス・オールターナティブさんのファンになりました。お話を聞いてとても良かった。もっと購入しようと思いました。とても良いお話だったのでに参加人数が少なかったのは残念でした。マリオさんのカレーのレトルドとても楽しみにしています。(我孫子市 田口)

〇生協の活動に似ている

改めて感じたことは、プレス・オールターナティブが目指すところが生協の活動に似ているということです。商社に安く買いたたかれてしまってお金が産地に落ちないという状況から、地域・生産者が自立していけるよ

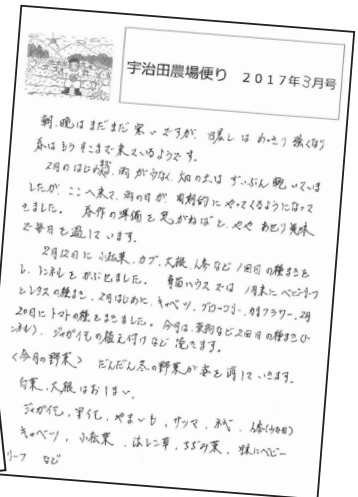
うな仕事を作り、商品として売っていけるモノづくりが出来る産地づくりを売り手も一緒に取り組むという姿勢。

産地の気持ち、思いを消費者に伝えることのむずかしさを感じているという担当の市原さんの気持ちがよくわかりました。すぐに産地にいけない遠方の生産者の事を伝えるのは、生協の生産者の事を伝えるよりももっと難しいとことだと思いました。それを今回、画像と話しでよく伝えてくれました。

全ての商品を通して、有機・フェアトレードの認証マークを付けることにこだわらず、実態としてやっていることを評価し伝えることで、その事業や取り組みを継続している事に、プレス・オールターナティブとしての誇りを感じました。「人と人と仕事でつながり地域と生活」。それぞれの自立を感じるそんなお話しでした。(生協 井上)

「野菜セット何が届くかわからな～い！」の声に答えて

毎週月曜朝、常総生協ホームページトップのお知らせに、その週の野菜セットの品目・写真・お便りを速報で掲載することとしました！ぜひ献立等の参考に！



地区別総代定数の訂正とお詫び (理事会)

申し訳ありません。Newsletterの3月3回号にて総代公告を出しましたが、その時の各地区の総代目安人数に誤りがありましたので、訂正いたします。

- つくば市 17人 → 18人
- 我孫子・印西・白井 5人 → 6人
- 柏市 6人 → 5人
- 松戸市・鎌ヶ谷市 4人 → 3人

組合員の皆様の間違った情報を流してしまった事に対し、大変申し訳ありませんでした。今後同様なことが起きないように重々確認して広報してまいります。(専務理事 伊藤)

【地区別総代定数の目安】

		市町村活動組合員数割合定数	
		枠	総代目安
共同購入	茨城 (2,733人) 79名	取手市	20
		守谷市	15
		つくばみらい市	3
		常総市	1
		坂東市	1
		利根町	3
		龍ヶ崎市	7
		牛久市	4
		つくば市	18
		土浦市	4
		阿見町	1
		石岡・小美玉・かすみがうら	2
		我孫子・印西・白井	6
		柏市	5
松戸市・鎌ヶ谷市	3		
流山市・野田	3		
店舗	4名	4	
【合計】	100名	100	

組合員、生産者、職員の広場

〇チョコー醤油のうすむらさき「生」は取り扱いはありませんか？

とてもおいしくて重宝していましたが、なくなってしまい少々困っています。

(つくば市 柿木さん)

ご要望ありがとうございます。

ご要望のうすむらさき「生」は4月4回(次週配布)NO.316で取り扱いますので、是非お忘れのない様にお願い致します。

(商品部 丸山)

〇ひな祭りで初めて手作り甘酒を作りました♪

今年のひなまつりは常総生協さんの乾燥米こうじを使って、初めて甘酒を手作りしました。作り方を参考に作りましたが、大成功!!お米と米こうじだけでは思えない程コクのある甘味でびっくり。娘も1歳の息子もゴクゴクおいしそうにいただきました。来年も手作りします。

(つくば市 上野さん)

〇岩瀬さんの豚肉再開良かった～!

再会良かったです。供給が間に合うようになりましたら豚カツ、豚テキ用があると良いと思います。わが家はお肉の消費は少ないのですが時折は要望もありますので、藤代の精肉店に行くこともあります。

(取手市 野澤さん)

〇企画の要望

2月3回の玄米珈琲(黒姫和漢薬研究所)今まで一番おいしい玄米珈琲でした。ときどきでも注文出来たら大変うれしいです。

(利根町 中村さん)

ご意見ありがとうございます。

玄米珈琲の反響が大きく、月1回は企画していく事になりました。次回は5月2回の所での企画になります、どうぞ宜しくお願い致します。

(商品部 丸山)

〇わくわく楽しみです。

ターサイの菜花、最高! サッと湯がいて冷水に。緑も鮮やか。味も濃く甘くて感激! 本物だ! かつお節をパラパラただけで頂きました。「色々野菜の菜花」、さて次は何が届くか、わくわく楽しみです。

(取手市 土井さん)

〇黒澤米の玄米珈琲。ドリップで入れたら何杯も飲めます。

遅くなりましたが、岩野さん上田さんご結婚おめでとございます。こうした近況報告はとっても親近感が増します。黒澤米の玄米珈琲。ドリップで入れたら何杯も飲めます。香りはなくなりますが甘みがある麦茶のように感じました。

(坂東市 清水さん)

〇何か懐かしい感じがする

いつもありがとうございます。ニュースレター、「震災・原発事故から6年を迎えて」読ませて戴き、何この文章の迫力! 説得力! は・・・何か懐かしい感じがするけど、どなたが寄稿されたのかしら・・・最後にああ大石さんだったんだ・・・と。初心にかえり、身の引きしめる思いがしました。大石さん、時々寄稿して下さい。元気がでます。

(つくば市 高橋さん)

〇待っていました!! 美味しそう!!

- ・さんまチーズサンド久しぶりです。待ってました。
- ・漁師モーニング漬け気になります。おいしそう。

(つくば市 佐藤さん)

〇企画について

①太刀魚西京漬け美味しいです。普段、魚を購入する際、4人家族なので、購入時に迷います。今回の様に1切れ企画があると良いと思います。その分、コスト負担が増える可能性はあるのですが…②おすすが揚げごぼうですが、以前あったあまり味のついていない揚げごぼうが最近見当たらず、そちらの方が好みだったので、今回は注文を躊躇しました。

(つくば市 本多さん)

〇本当に嬉しいです!(^_^)!

百姓せんべいを3月4回で扱ってくださって本当にうれしいです。前々から要望をだしていましたが。ただ干し大根葉が無いのが残念、さりげない美味しさで栄養もとれる。半分まとまらないのでしょうか? さりげない美味しさで栄養もとれる。大根の葉も捨てずに利用されるのに。ともかく扱って下さったお礼がいたくて・・・また、そのうち商品案内にぜひ、登場させてください。

(つくば市 西尾さん)

組合員、生産者、職員の広場

供給部職員の阿部さんが発行している担当者 News「あべちゃん.com」が担当が変わると個人的に欲しいという要望もあるほど大変人気です、今回の News 中面にて掲載させていただきました。

あべchan.com 4月6日

姉さん事件です！それは昨年のクリスマス前のこと。供給後トラックの運転席でエンジンをかけようとして固まった。目の前の空全面に半透明な魚卵のようなものが広がって見えた。これは現実？魚型エイリアンがやってきた？これは飛蚊症だ…しかも黒い影のカタマリも見える。まるで目の中に岩苔が寄生したようだ。右目の中がアクアリウムのようになってしまった！そしてこの病気持ち出した。失明するやべえやつだ。土曜日眼科で診察の結果「網膜裂孔症」とのこと。予想通りではあったが予想以上に穴がいくつもあるらしい。即日レーザー手術になった。頭を押さえられ「ピッ」という電子音とともに緑色のレーザーが右目の中を撃ち抜く。ちょっと鈍痛。それを延々と繰り返される。何百発と撃たれている最中。右頬を涙が流れていくのを感じた。不思議だな涙は感情あってもなくても流れる。右目にとってはレーザーは痛いのだろうか、辛いのだろうか。ホロホロッと泣きながら手術は終了。ちなみにこのレーザー手術。2回目以降同じ患部なら追加料金なし！撃ち放題！泣き放題！おがわり自由。で計4回しました。当初、ゴミの浮くドブ川の中から空を見るような感じの右目は濁りもほとんどなくなり視力も回復。アクアリウムな右目は仕方なし。私の網膜は遺伝的に薄いそうです(両目)。なので今後どうなるかは誰も分かりません。神のみぞ知る。いや、めがみのみぞ知るところ。それが飛蚊症(目の中の岩苔)が視界の邪魔をしていて右目だけ閉じていることがあると思います。それはウインクとかいう愛情表現ではありません。感情的にはむしろ逆なのです。多少キモイかもしれませんがどうぞ華麗にスルーして下さい。飛蚊症持ちのうざったさを語り合う飛蚊化コミュニケーションは歓迎します。